

ばっけ



第107号
発行 令和5年10月
放送大学秋田学習センター
TEL 018-831-1997



今どきの子どもは大変・・・

放送大学秋田学習センター客員教授 北島 正人



「いまや 20 人に 1 人」。40 歳以上の緑内障の有病率、5%。そう、そう、それも正解。でも、ここで話しようと思っているのは「不登校」のことなんです。

年間 30 日以上欠席した不登校状態の子どもは、2021 年度時点で小学生は 77 人に 1 人(1.3%)、中学生はまさに 20 人に 1 人(5.0%)でした。この 10 月に発表された 2022 年度の報告では、小学生 59 人に 1 人(1.7%)、中学生 17 人に 1 人(6.0%)と、たった 1 年で小中学生あわせて 54,000 人超の約 30 万人、22%増と驚愕の値を示しています(「令和4年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より)。

直近の 1 年でもこれほどの急増を示しているのですが、10 年単位で見ても、かなりのハイペースです。10 年前の 2012 年度はというと、小学校は 323 人に 1 人(0.31%)、中学校は 39 人に 1 人(2.56%)でした。つまり、この 10 年で小学生の不登校は 5 倍、中学生は 2 倍にふくれ上がっているのです。中学生は不登校率の高さが問題ですが、同時に不登校の低年齢化が進んでいることが分かります。これらの問題は、コロナ禍に喘いだこの 3 年の影響も大きいけれど、コロナ禍よりずっと前からすでに子どもたちに生じていた変化と考えた方が良いでしょう。

文科省の学校調査では、小中学校の不登校の最も大きな要因として挙げられるものは「無気力・不安」で、5 割を占めます。不登校になるとときには本人の無気力や不安が影響するということであって、直接的な原因ということではありません。2020 年度に実施された、不登校を経験した小学 6 年生・中学 2 年生を対象とする調査(「令和2年度 不登校児童生徒の実態調査」)では、「最初に学校に行きづらいつと感じ始めたきっかけ」(複数回答)は、「先生と合わなかった、先生が怖かったなど先生のこと」、「学校に行こうとするとおなかが痛くなったなど身体の不調」いずれも小中学生ともに 3 割程度であり、学校調査よりも身体不調や教師の要因が大きくなります。「学校を休んでいる間の気持ち」(複数回答)は、小中学生の 7 割が「ほっとした・楽な気持ち」の一方で、「勉強の遅れに対する不安」「同級生がどう思っているか不安」は小学生の 6 割、中学生の 7 割に見られ、学校を休むことに対する葛藤的な態度が垣間見えます。

「今どきの子どもは甘えている」、「自分たちの時代の方が厳しかった」と捉える大人たちもいますが、子どもたちと彼らを取り巻く環境は大きく変化しており、発達障害や虐待、深刻な貧困、おひとり様文化、学校・学歴メリットの低減など、むしろ今の状況の方が複雑で混沌としています。もはや学校や地域システムを変えることだけでそれを收拾できる時代にはありません(上記 2022 年度調査では、小中高および特別支援学校での不登校、いじめの認知件数、暴力行為は過去最多、自殺の問題も深刻で過去 2 番目の水準にあります)。



今どきの子どもは大変です。

未来を担う子どもたちを支えるために、私たちはさまざまな立場からあらゆる手段を講じて、今できることを精いっぱい提供すべきときだと考えています。



2023年度第1学期 ご卒業おめでとうございます！



秋田学習センターでは、2023年度第1学期をもって、教養学部生17名が卒業されました。

教職員一同心からお祝い申し上げます。

10月7日（土）に、秋田学習センターにおいて、新型コロナウイルス感染防止を図りつつ出席者を限定し、学位記授与式が挙行されました。卒業生5名が出席し、式は滞りなく終了しました。



学位記授与式の様子(学歌演奏)



学位記授与式 記念撮影

所長表彰

平成26年度に制定した「放送大学秋田学習センター所長表彰取扱要項」に基づき、所長表彰式を10月7日（土）の学位記授与式終了後に開催しました。

受賞された皆様、誠におめでとうございます。

【エキスパートの認証を取得された方】

阿 部 明 子 さん	臨床心理学基礎
佐 藤 智 一 さん	心理学基礎
北 嶋 文 雄 さん	芸術系博物館活動支援、歴史系博物館活動支援
竹 内 敦 子 さん	臨床心理学基礎
石 井 浩 司 さん	臨床心理学基礎
阿 部 剛 紀 さん	データサイエンス

■ご本人から同意いただいた方の氏名を掲載させていただいております。





倉林所長式辞



卒業生代表謝辞

2023年度第1学期 学位記授与式 卒業生代表謝辞 『放送大学卒業にあたって』

本日、私たちのために、学位記授与式を開催して頂きありがとうございます。
ご多忙にもかかわらず、ご臨席頂きました西田前所長並びに教職員の皆様に感謝申し上げます。

本学に入学したのは2年半前です。

半世紀近く前に卒業した過去の古びた「卒業証書」。その半分は現在、そして将来を生きるための「学問」には、程遠くなっていました。

政権が代わるたび、繰り返される「憲法」解釈の問題、度重なる「民法」「行政法」の改正、激変する「地政学」、新たな課題である「環境学」「環境経済学」は、今学ばなければなりません。本学で全国の著名な先生から講義を受けることができ、驚きと感動の毎日でした。

古びた「卒業証書」は上書きされ、新しい「学位」を授与されたことは喜びにたえません。「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」、これはアメリカ陸軍元師のダグラス・マッカーサーの1951年4月の退任演説の一説です。現代風に解釈すると、「引退したら、お役御免。ゆるりと楽しく余生を生きる」ということになりましょう。

しかし、「時」は流れ、時代は大きく変化しました。本学の高橋和夫先生は、現在中東で絶え間なく繰り返される紛争に触れて「老兵は死なず、ただただ戦い続ける」と書いていらっしゃる。今風に解釈すれば、「死ぬまで現役、目的に向かって走り続けなさい。」ということでしょうか。

超高齢化社会において、私たちの多くは「引退」しても、長い余命を生きなければなりません。

何をすべきなのか考えました。

「引退しても、例え『牛の歩み』でもいいから、学習し続けたい。いや、しなければならない。」これが結論です。

この決意を申し上げて「謝辞」といたします。

二つ、感謝していることを申し添えます。

ひとつは、私たち学生のために暑い日も寒い日も、学習室の快適な環境を整えてくださいました、倉林所長はじめ事務室の職員の皆様に感謝します。

もうひとつは、「ゼミ」です。出席している「消費生活ゼミ」「現代思想ゼミ」です。拙い知識しか持たない私の質疑にも丁寧に答えて頂きました。2時間半にも及ぶことも度々です。若き時代、討論を交わした「ゼミ」を思い出します。毎月のゼミが楽しみのひとつとなりました。

堀江先生、小倉先生に感謝します。

本日は、ありがとうございました。そして、これからもよろしくお願いします。

令和5年10月7日 卒業生代表 高橋 勝彦



2023年度第1学期 卒業生の皆様からメッセージをいただきました♪



S・F さん

ー生活と福祉コースー



入学してからすぐに妊娠・出産・育児、そして仕事と怒涛の日々でしたが、マイペースに勉強を続け、何とか8年で卒業できたこと大変嬉しく思います。

これまでの事を自信にかえ、また頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました。

卒業生

ー生活と福祉コースー



御案内をいただきありがとうございます。

都合により欠席いたします。

10月から「心理と教育」コースに再入学する予定です。

これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

卒業生

ー心理と教育コースー



私にとっての放送大学は、定年退職後に足を踏み入れた、人生の総合病院。見たくない自分から目を背けず、苦痛を受け入れて、やがて、その後の自分を認めて、又、一歩先へ進めた様に思っています。

卒業は、ひとつの区切り、学ぶ事は続けていきたいと思っています。

H・T さん

ー心理と教育コースー



長い期間、学ばせてもらいました。

在学中、何度も挫折しそうになりましたが、無事に卒業まで頑張ることができ、大変うれしく思っております。

人生において、常に学び続ける姿勢を持ち続けることは非常に大切なことであると改めて感じています。今後も、学び続ける姿勢を持ち続け、現在の仕事をとおして、社会貢献ができればと思っております。

小川 潤悦 さん ー人間と文化コースー



今回の卒業で2回目です。初めの卒業には5年かかりましたが、2回目は2年で終える事が出来ました。2回目はあっけなく過ぎて、卒業の実感がわきません。今学期からは心理と教育コースで再出発します。このコースは得意科目が少ないのですが、少しずつ、やって行きます。

池田 昌憲 さん ー人間と文化コースー



今から4年前、65歳で会社の経営を後輩にゆずり、さてこれから何をしようかと思案していた時に、飲み仲間の大学の教授から紹介されたのが放送大学入学の始まりでした。学習センターの事務の方から最初は無理しないで徐々にペースを上げていったほうがいいですよ。とのアドバイスに従い、ゆっくりとのぞんでいたものの、やはり4年で卒業したい思いが強く、自分でもかなり気合を入れて勉強したつもりです。大学関係者の方々、そして何よりも妻に感謝です。

N・A さん

ー社会と産業コースー



3回目の卒業

私は秋田学習センターの開設を待ち、会社を退職する前年の平成8(1996)年10月から秋田大学鉱業博物館に通い始めました。あれからまる27年が経過し(その間3コース卒業)、来学期からの入学を申請して28年目に入るところです。この間、「知らないことを知る」ことで途中でやめようとしたことはありませんでした。知り合った方々から親切にいただき感謝の念で一杯です。人生の晩年を迎え、もうひとふりがんばろうと考えているこの頃です。





2023年度第2学期

ご入学おめでとうございます！



2023年度第2学期入学者125名の皆様、ご入学おめでとうございます。

10月7日(土)、秋田学習センターにて「2023年度第2学期入学者の集い」が開催され、8名の新入生が参加しました。新たな学習への思いを胸に新学期が始まりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



入学者の集いの様子（学長メッセージ）



【教養学部】

全科履修生	21
選科履修生	12
科目履修生	22
特別聴講生	66
合 計	121

【大学院】

修士全科生	0
修士選科生	2
修士科目生	2
合 計	4

秋田学習センター入学者数
令和5年10月12日現在

※今学期入学された方の中からお二人にご寄稿いただきました。

『入学に際して』

【科目履修生】 小西 絢子

今学期から放送大学で科目履修をする事となりました。現在は秋田市内にある歯科医療専門学校の学生をしています。

放送大学に興味を持ったのは、生物や化学などの一般教養科目に対する知識不足を痛感する事が多かったためです。間雲に教科書を丸暗記するのではなく、「なぜそうなるのか」を一つ一つ理解するには、基礎から勉強をやり直す必要があると感じ入学を決めました。専門学校から放送大学への編入学を行うと、学士取得に向けて一部単位が認定される点も非常に魅力的に感じています。

カリキュラムはオンラインでの授業が中心になっているため、自主性が強く求められるかと思えます。不安もありますが、今は新しい挑戦の機会をいただけた嬉しさが大きいです。体調に留意しながら、学校での臨床実習などと並行して勉強を進めていきたいです。

『放送大学8年目をむかえて』

【全科履修生】 小川 潤悦

私が放送大学で学ぶようになってから、今期で8年目になる。最初の試験科目は2015年の『ロシアの政治と外交』であった。この科目の試験は記述式なのだがその試験結果が思いのほか良かったのだ。最初の試験が「ビギナーズラック」で良かったことがその後の放送大学での勉強を続けさせてくれたと思っている。さてその科目は数年後に再び私の中で蘇ることとなった。2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻であった。あの当時、ウクライナ侵攻を強行したロシアの行動は世界中の耳目を集めた。この侵攻を可能にしたロシアの統治体制を考えるのに先の「ロシアの政治と外交」は大いに参考になった。

社会と産業コースを卒業したのちに次に履修したのは人間と文化のコースでした。このコースでは主に文学や芸術に関する科目を履修した。中でも、「世界文学への招待」と「文学批評への招待」「ヨーロッパ文学の読み方ー近代編」の三つの科目が印象に残っている。「ヨーロッパ文学の読み方ー近代編」で「ガリバー旅行記」に第三篇と第四篇があったことなどを初めて知った。

先人が築いた文化や思惟を知らしめることは、学問に課せられている課題なのだが、放送大学はそれに十分に答えられる大学であると思う次第である。

秋田をまなぶ講座 シリーズ2023

放送大学秋田学習センター
秋田を知る
連携セミナー

第1回「秋田をまなぶ講座シリーズ2023」講演会は、令和5年6月10日(土)に五城目町「五城館」において開催されました。当日は、講座参加者による秋田弁の朗読もあり、矢田津世子の作品が、より深まる機会になったと思います。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



「矢田津世子の作品を読む」

山形大学地域教育文化学部 教授 山崎 義光



6月10日(土) 五城目町「五城館」 山崎 義光 教授による講演会の様子

第2回「秋田をまなぶ講座シリーズ2023」講演会は、令和5年8月26日(土)ににかほ市仁賀保勤労青少年ホームにおいて、好評のうち無事終了いたしました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。



「秋田の地域食資源を活用した 健康食品や化粧品の開発」

秋田大学教育文化学部 教授 池本 敦



8月26日(土) にかほ市「仁賀保勤労青少年ホーム」 池本 敦 教授による講演会の様子

第3回

11月5日(日)

13:00~15:00

●会場 八郎潟町えきま交流館はちバル

「斎藤隆介が『八郎』に込めた想い」

児童文学評論家 藤田のぼる

●申込先 八郎潟町立図書館 ☎018-827-5601

今年度最後の講座となります。多数のご参加お待ちしております。



2023年度第2学期 面接授業追加登録について

空席がある科目については、追加で募集を行っています。秋田学習センター開設科目の追加登録方法は、以下のとおりです。

《学習センターの窓口で申請》

科目追加登録申請書・学生証・授業料をご持参ください。

※ 授業料は、おつりのないようご準備願います。

授業料は

1科目 5,500円です。

《郵送による申請》

科目追加登録申請書・学生証のコピー・授業料・返信用封筒(84円切手貼付・宛名明記)

を同封のうえ、現金書留にて郵送してください。

■ただし、当該面接授業開講日の1週間前の17:00までの受付となります。

また、受付期間内でも定員になり次第締切となります。

■申請書は学習センターにあります。放送大学ウェブサイトからもダウンロードできます。

■なお、追加登録の受付方法は各学習センターで異なりますので、当該学習センターへお問い合わせください。

空席状況確認方法

WAKABAログイン・教務情報・科目登録申請・空席照会

【追加登録を受け付けている科目一覧】

科目区分		科目名	担当講師	開講日
生活と福祉	専門	発達障害に対する作業療法	高橋 恵一	11月4日(土)・5日(日)
情報	専門	IoTとネットワークの技術	橋本 仁	11月4日(土)・5日(日)
心理と教育	専門	子どもと臨床心理学	北島 正人	11月11日(土)・12日(日)
社会と産業	導入	熱の流れを科学する	田子 真	11月11日(土)・12日(日)
人間と文化	専門	社会と文化芸術の＜共進化＞	小松田 儀貞	11月18日(土)・19日(日)
自然と環境	専門	微分積分と差分和分	石崎 克也	11月18日(土)・19日(日)
人間と文化	専門	キェルケゴールの＜実存哲学＞	鈴木 祐丞	11月25日(土)・26日(日)
自然と環境	専門	気候変動と環境問題	本谷 研	12月2日(土)・3日(日)
基盤		新・初歩からのパソコン	佐々木 芳宏	12月2日(土)・3日(日)
人間と文化	導入	中国古代史概説	内田 昌功	12月9日(土)・10日(日)
心理と教育	専門	心理学実験2	中野 良樹	12月9日(土)・10日(日)
心理と教育	専門	生活の中の算数・数学	加藤 慎一	12月16日(土)・17日(日)

全科履修生の皆さま！2024年度第1学期から卒業要件が変わります！

- 全科履修生の卒業要件（授業形態に係る要件）が2024年度第1学期から変わります。
- 新しい卒業要件では「授業形態に係る卒業要件」に占める「授業形態を問わない単位数」が増え、科目登録の選択肢が広がります。
- 現在全科履修生に在籍中の方（2023年度第2学期末に学籍が切れる方を除く）も、カリキュラム移行の手続きを行うことで、新卒業要件の適用を受けることができます。

<新卒業要件 詳細>

卒業要件には、「科目区分に係る要件」と「授業形態に係る要件」があります。

新卒業要件では、「授業形態に係る要件」が下表のとおり変更になります。

新卒業要件では、従来に比べ、放送授業・面接授業・オンライン授業のいずれでも修得できる単位が20単位増え、より自由に科目を選択できるようになります。

授業形態	修得すべき最低単位数(計 124 単位)	
		授業形態を問わない単位数
放送授業	74単位 (従来:94単位)	30単位 (従来:10単位)
面接授業または オンライン授業	20単位	

<申請期間> (2024年度第1学期からの移行を希望する場合 ※1)

2023年10月20日(金)9:00 ~ 12月7日(木)24:00<必着>

※1 2024年度第2学期以降も申請可能です。詳細は2024年度版の「学生生活の葉」でご確認ください。

<申請方法 ※2>

システムWAKABAによる申請 (推奨)

- ①システムWAKABA「教務情報 → 変更・異動手続」を開きます。
- ②「所属コース・カリキュラム移行」を選択します。
- ③移行後の「希望するカリキュラム」を「24カリ」とし、所属コースを選びます。
所属コースの変更を希望しない場合は現在のコースを選んでください。
(「変更理由」はいつでも結構です)「確認」後の画面で「申請」を押してください。

郵送による申請

「学生生活の葉」巻末様式1「所属コース変更願兼カリキュラム移行届」の「2. カリキュラム移行」に○をつけ、下記宛先まで提出してください。

(「2016年度以降のカリキュラムへの移行」を「2024年度以降のカリキュラムへの移行」と読み替えます。
「移行理由」はいつでも可。)

〒261-8586 千葉県美浜区若葉2-11 放送大学学務部学生課入学・履修係

※2 カリキュラム移行手続きの詳細については、「学生生活の葉(2023年度版)」p.82をご確認ください。

本お知らせは教養学部 全科履修生向けです。
教養学部 選科履修生・科目履修生の方、大学院在籍中の方、特別聴講生等とはご参考としてご覧ください。

お問い合わせ：043-276-5111 (放送大学教務課)
平日 9:15~17:30
土曜日 9:15~13:00 14:00~17:30

システムWAKABA(教務システム)について

放送大学では学生の学修をサポートするため、教務情報システム（システムWAKABA）など、インターネットを利用した各種情報システムを提供しています。ログインIDおよびパスワードは、入学許可書に記載されています。

システム利用再開や変更したパスワードを忘れた場合は、秋田学習センター（☎018-831-1997）または、学生サポートセンター（☎043-276-5111）へ連絡してください。

放送大学 認証システム

ログインID およびパスワードを入力してください

ログインID:

パスワード:

ログイン クリア

ログインIDはハイフン(ー)無しの学生番号10桁
初期設定パスワードは西暦生年月日の8桁

入学許可書が届いたら初期パスワードを変更してください。
新しいパスワードの条件

- 8文字以上であること
- ログイン名を含まないこと
- 英字、数字がそれぞれ一文字以上含まれていること

キャンパスメールについて

キャンパスメール



「キャンパスメール」(学籍番号@campus.ouj.ac.jp)は、Webブラウザを利用した電子メールシステムです。

- 放送大学本部および学習センターからの修学関連事項の連絡。
- 学生から放送大学本部および学習センターへの連絡手段。
- メール機能としての活用。
- 緊急時のお知らせや面接授業(Zoomの招待URL)など、大事なお知らせを配信します。定期的に確認するようにしてください。

放送大学附属図書館の利用について

放送大学附属図書館ウェブサイトの「OPACシステム」で図書資料の取り寄せ申込をすることで、学習センターで受け取ることができます。（附属図書館の一般図書のみ）

在籍中の全学生は自宅配送が利用できます。（配送料自己負担）

放送大学附属図書館



 資料を探す
初めての方へ >

学内資料検索

OPACシステム簡易検索 Q

ディスカバリーサービス (図書、電子ブック等まとめて検索) Q

① 学内の資料を探す	① 学外の資料を探す
① リブナビ・リブナビプラス	① 電子ブック・電子ジャーナル
① 放送大学研究年報	① 主任講師が選ぶ参考文献

ログイン画面になったらシステムWAKABAと同じID・パスワードを入力してね。



通信指導について

『学生生活の栞』学部P61～P69 大学院P63～P71

通信指導を期限までに提出し、合格すると、単位認定試験の受験資格が得られます。未提出または不合格の場合は受験できません。

<提出期限>

≪Web通信指導による提出の場合≫

11月8日(水)10:00 ～ 11月29日(水)17:00

≪郵送による提出の場合≫

11月15日(水) ～ 11月29日(水) 必着



「Web通信指導」で通信指導の問題を提出した場合は、郵送による提出は不要です。提出しても無効となります。

<通信指導の問題>

通信指導の問題は、(一部の科目を除いて)印刷教材と一緒に発送されます。発送状況は、システムWAKABA「教務情報→学生カルテ→教材発送情報」から確認できます。

問題が11月6日(月)までに届かない場合は、学生サポートセンター(☎:043-276-5111)へ必ず連絡してください。

<通信指導の添削結果>

12月末～1月上旬に返送されます。

通信指導の添削結果が、択一式科目は1月5日(金)、記述式科目は1月12日(金)までに届かない場合は、学生サポートセンター(☎:043-276-5111)へ連絡してください。

<通信指導の合否結果>

添削結果と同時期に送付される「単位認定試験通知(受験票)」によって通知されます。

1月9日(火)になっても単位認定試験の受験票が届かない場合、あるいは紛失した場合は、学生サポートセンター(☎:043-276-5111)へ連絡してください。

秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験版の操作機会提供について

<Web受験が困難な方へ>

自宅にインターネット環境がない、またはパソコンの操作が困難等の事情によりWeb受験が困難な方は、「学習センター受験申請書」を本部に提出することで、学習センターで受験することができます。

<秋田学習センターで「Web単位認定試験体験会」開催します！>

≪日時≫

- ①12月22日(金)10:00～12:00 ②12月22日(金)14:00～16:00
- ③12月23日(土)10:00～12:00 ④12月23日(土)14:00～16:00
- ⑤12月24日(日)10:00～12:00 ⑥12月24日(日)14:00～16:00

※各回とも同じ内容です。空席のある場合は、複数回の参加も可能です。

≪定員≫

各回とも10名(定員を超えた回については、個別に日程変更をお願いする場合があります。)

≪場所≫

秋田学習センター実習室

≪予約方法≫

参加希望日の前日までに秋田学習センター窓口または電話(018-831-1997)で事前予約してください。

パソコン操作が不安な方はこの機会にぜひご参加ください。特に、「学習センター受験申請書」を提出し、秋田学習センターでの受験希望の方は必ずご参加ください。

2024年度第1学期学生(2024年4月入学)募集について

2024年4月入学生を募集します！

出願受付期間 11月26日(日)～2024年3月12日(火)



放送大学の入学資格は学ぶ意欲です！放送大学はあなたの『意欲』を応援します！
学生の皆様からも、お近くの方々へ放送大学の特色を発信していただきたく思います。
どうぞよろしくお願いいたします。

【放送大学】大学説明会のご案内

放送大学の大学説明会を、秋田学習センターで開催いたします。

第1回 2023年12月16日(土) 午後1時30分 ～ 午後3時

第2回 2024年 1月27日(土) 午後1時30分 ～ 午後3時

第3回 2024年 2月18日(日) 午後1時30分 ～ 午後3時

<内容> 大学説明・施設案内・個別相談

<開催場所・問合せ先・申込先>

放送大学秋田学習センター

〒010-8502

秋田市手形学園町1-1

(秋田大学内)地方創生センター2号館4階

TEL 018-831-1997 FAX 018-837-4885

教養は、
エネルギーだ。



開所時間および施設の利用について

来所の際は、必ず事務室窓口で受付を行ってください。
視聴学習室・図書室利用、ゼミの参加なども**事務室窓口**
にて受付を行います。学生証を提示の上、体温測定を行い
健康状況を申告してください。



期 間	利用時間	視聴学習室・ 図 書 室	事務室 窓口受付
2020年10月1日 ～ 当面の間	午前	9:30～12:00	9:15～12:00
	午後	13:00～17:00	13:00～17:00

※12:00～13:00は、昼休みおよび消毒作業時間となります。

- 体調がすぐれない場合は、来所をお控えください。
- マスクの着用にご協力ください。
- アルコール消毒液での手指消毒にご協力ください。
- 「3密」にならないよう、ご協力ください。





今後のスケジュール



11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

- 1日 2023年度卒業研究報告書提出期限
 4・5日 面接授業 『発達障害に対する作業療法』
 『IoTとネットワークの技術』
 5日 公開講座 「斎藤隆介が『八郎』に込めた想い」
 会場：八郎潟町えきまえ交流館はちパル
 8日 通信指導提出開始(Web)
 11・12日 面接授業 『子どもと臨床心理学』
 『熱の流れを科学する』
 15日 通信指導提出開始(郵送)
 18・19日 面接授業 『社会と文化芸術の＜共進化＞』
 『微分積分と差分和文』
 25・26日 面接授業 『衣生活を考える』
 『キェルケゴールの＜実存哲学＞』
 26日 2024年度第1学期出願受付開始(～3/12)
 29日 通信指導提出期限【本部必着】(Web～17時まで)

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

- 2・3日 面接授業 『気候変動と環境問題』
 『新・初歩からのパソコン』
 9・10日 面接授業 『中国古代史概説』
 『心理学実験2』
 16日 面接授業 『生活の中の算数・数学』
 16日 第1回大学説明会(13:30～15:00)
 18日 大学院修士論文提出期限
 22～24日 秋田学習センターにおけるWeb単位認定試験体験会(第1回～6回)
 28日 臨時閉所日
 29～31日 年末閉所日

1月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

- 1～3日 年始閉所日
 4日 臨時閉所日
 12日 大学入学共通テストのため入構規制
 13・14日 臨時閉所日(大学入学共通テストのため)
 16～24日 学部・大学院単位認定試験(Web・郵送受験方式)
 25日 臨時閉所日
 27日 第2回大学説明会(13:30～15:00)

- …閉所日
 ■ …通信指導提出期限
 ■ …単位認定試験日(院・学部)
 (1/16～1/24)

■ 年末年始は、12月28日(木)～1月4日(木)まで閉所させていただきます。
 ■ 1月13日(土)～14日(日)は秋田大学手形キャンパスが大学入学共通テストの試験会場となりますので、学習センターは臨時閉所させていただきます。
 ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

※ 予定は変更する場合がありますので、学習センターウェブサイト等でご確認ください。

